



東国分爽風学園「小中一貫教育」～子どもたちが主役の取り組み～

2021（令和3）年4月に、東国分中ブロック（東国分中学校、曾谷小学校、稲越小学校）小中一貫型小学校・中学校※通称「東国分爽風学園」がスタートしました。

これまでに、新たな教科「ふるさと探究科」や小学校同士による「合同校外学習」、児童生徒が主体の「3校合同あいさつ運動」などの小中一貫教育の取り組みを進めてきました。

今回は、オンラインで実施をした「中学校生徒会と小学校代表委員会との交流会」（7月）と「給食交流会」（10月）についてご紹介します。

【中学校生徒会と小学校代表委員会との交流】



《自己紹介する東国分中学生徒と
曾谷小と稲越小の代表委員会の児童》



《東国分爽風学園で取り組みたいことを提案する
曾谷小の代表委員会の児童》

児童生徒からは、「中学校で行っているモザイクアートを3校で実施したい」、「リモート給食交流会を行いたい」、「3校合同の校外学習を行いたい」など活発な意見交換が行われました。

【給食交流会】



《給食の献立を紹介する稲越小の1年生》



《東国分中の司会の生徒に手を振る曾谷小の1年生》

給食交流会は、中学校生徒会と小学校代表委員会の意見交換会で出されたアイデアをもとに実施されました。児童生徒にとって各学校の給食の様子を知る良い機会となったようです。東国分中の生徒が司会を務め、東国分爽風学園の上級生として下級生のお手本となるような姿が印象的でした。

東国分爽風学園では、今後も、児童生徒が主役となる取り組みを進め、小中一貫教育を推進していきます。

※「小中一貫型小学校・中学校」とは、正式な学校名や校舎などは、今までと変わることなく、義務教育学校に準じた形で9年間の教育を一貫して行う学校です。